

技能継承・振興のための施策を推進すること  
(施策番号VI-3-1)

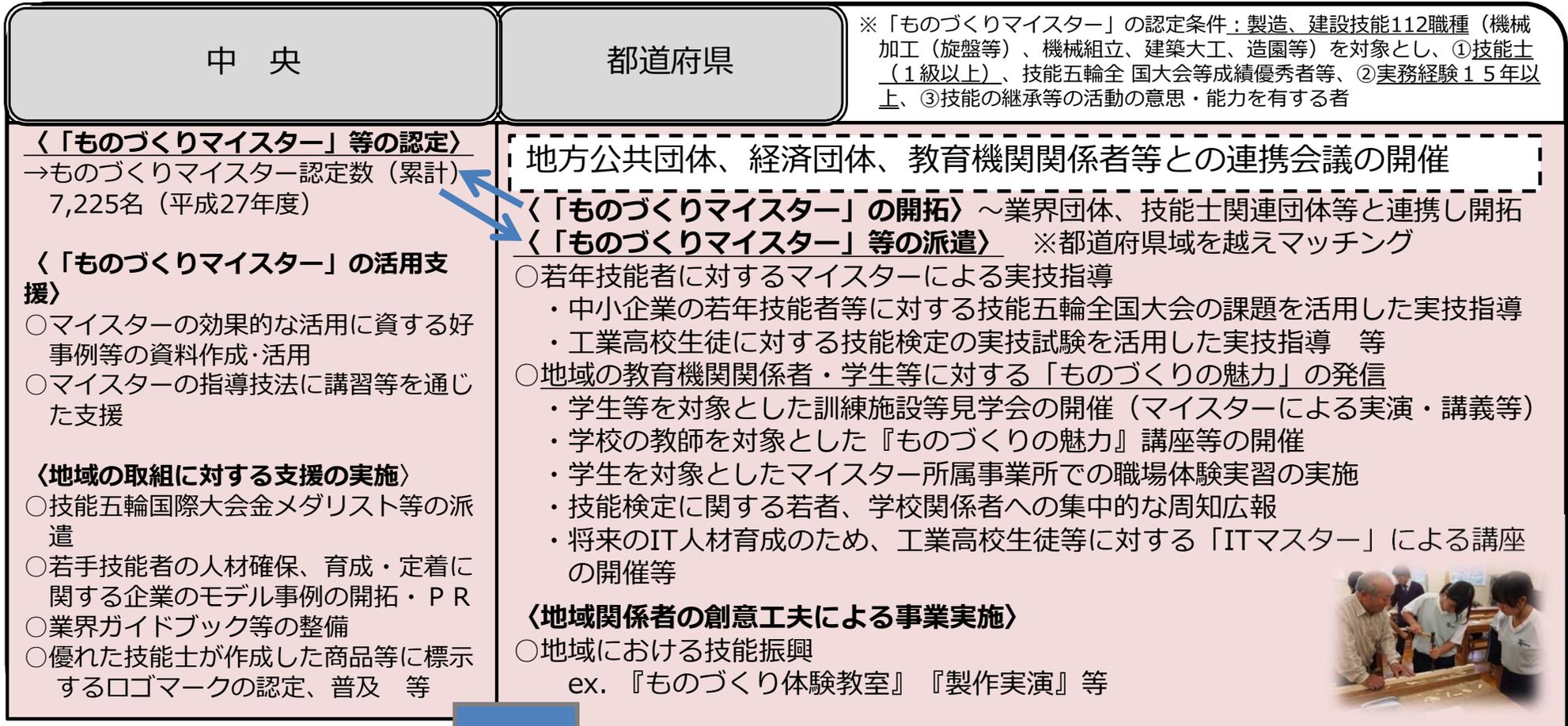
添付資料

# 若年技能者人材育成支援等事業

平成29年度予算額 34 (34) 億円

- 若者のものづくり、技能離れ等の実態を踏まえ、技能尊重機運の醸成、産業活動の基礎となる技能者の育成を図るため、「ものづくりマイスター」の開拓・認定、活用（技能検定・競技大会の課題を用いた実技指導等）による技能継承、その他に地域関係者の創意工夫による技能振興の取組を推進するため、「若年技能者人材育成支援等事業」を実施。

## <事業スキーム>



〈企業・業界団体、教育訓練機関〉  
若者のものづくり業界への誘導・若年技能者の人材育成、技能尊重機運の醸成等

# 各種技能競技大会

○若者の就業意欲の喚起や円滑な技能継承に資するため、技能五輪全国大会をはじめとする各種技能競技大会を推進している。

項目	技能グランプリ	技能五輪全国大会	若年者ものづくり競技大会
目的	技能士の技能の一層の向上を図るとともに、その熟練した技能を広く国民に披露することにより、その地位の向上と技能の振興を図る。	青年技能者がその技能レベルの日本一を競うことにより、国内の青年技能者の水準向上を図り、併せて技能尊重気運の醸成を図る。 (西暦偶数年は、技能五輪国際大会の予選を兼ねる)	技能を習得中の若年者に目標を付与し、技能を向上させることにより、若年者の就業促進を図り、併せて若年技能者の裾野の拡大を図る。
出場資格	特級、1級及び単一等級の技能検定に合格した技能士	技能検定2級相当以上の技能を有する原則23歳以下の青年技能者	職業能力開発施設、認定職業訓練施設、工業高校、工業高等専門学校等において技能を習得中の原則20歳以下の者で、企業等に就職していない者
競技レベル	上級レベル	上級から中級レベル(技能検定2級相当以上)	初級レベル(技能検定3級程度)
競技職種	建築大工、和裁等の職種	技能五輪国際大会で実施されている職種、国内の青年技能者の技能水準の向上と技能尊重気運の醸成に資するものと認められる職種	旋盤、電子機器組立て、建築大工等の工業高校等の学校等において技能習得中の者が多い職種
参加者数	平成24年度実績:28職種 482名 平成26年度実績:28職種 444名 平成28年度実績:30職種 514名	平成27年度実績:41職種 1,183名 平成28年度実績:41職種 1,318名 平成29年度実績:42職種 1,337名	平成27年度実績:14職種 352名 平成28年度実績:14職種 358名 平成29年度実績:15職種 443名
直近(今後)の開催地	静岡県(平成28年度) 兵庫県(平成30年度)	栃木県(平成29年度) 沖縄県(平成30年度)	愛知県(平成29年度) 石川県(平成30年度)

〈技能レベルの相関図〉

